

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
みはら音楽フェスティバル		みはら音楽フェスティバル実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H28	H29	H30
美原区域の住民・団体の協働による事業を通じて、地域コミュニティの活性化と自主的な魅力あるまちづくり意識の高揚を図る。音楽演奏、催しを通じて、音楽活動の活性化を図るとともに、コミュニティと憩いの場として、文化的な市民生活を伸長する。	区域住民自らが企画・運営することにより、区域の一層の親睦、連帯、交流を深め、明るく住みよい、活気と愛着のあるまちづくりを推進するとともに、住民が主体的に行うまちづくりのための人材育成ができる。また、音楽を通じて、文化的で豊かな住民生活を推進するとともに、区域住民が一体となる機会づくりを進めることができる。	①来場者数 ②来場者アンケートによる満足度の測定および参加者からの意見集約（「満足」の割合）	430人	260人	305人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 音楽・文化活動を通じて、区民の相互交流と心豊かな市民生活を伸長することは、区民の連帯感の醸成を促進させることができ、区民との協働事業として妥当である。	○ 音楽愛好家である実行委員が出演者等をはじめとしたイベント内容を企画し、当日運営に参加している。	○ 世界の珍しい民族楽器を使った国際色豊かなコンサートを実施した。来場者数に舞台上がってもらい、フラメンコを体験してもらうなど来場者参加型のコーナーを設け、会場一体となって盛り上がった。	○ 「大変良かった」「良かった」の割合95%	○ 大変良かった「良かった」の割合98%	○ 大変良かった「良かった」の割合99%
⑤自立発展性	総合評価				
— 本事業は、行政と区民の協働事業であり、区民の自主的な活動が求められるものについては、積極的にその促進を図っている。	○ 実施したアンケートでは評価の高い回答が約99%となっており、高い満足度を得ることができた。来場者数は昨年度より増加し、今回PR方法を拡充したことによる一定の効果が表れたと分析している。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	平成27年度までは、プロの音楽家と実行委員がセッションを行うなど、区民参加型のコンサートを開催していたが、平成28年度以降は、プロの音楽家だけのコンサートとなっている。本市における他の文化振興事業との違いが分かり辛くなっているのが実情である。そのため、今後は音楽フェスティバルのあり方を検討していく必要がある。				